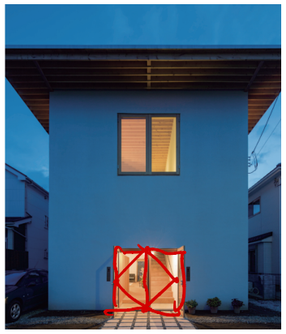
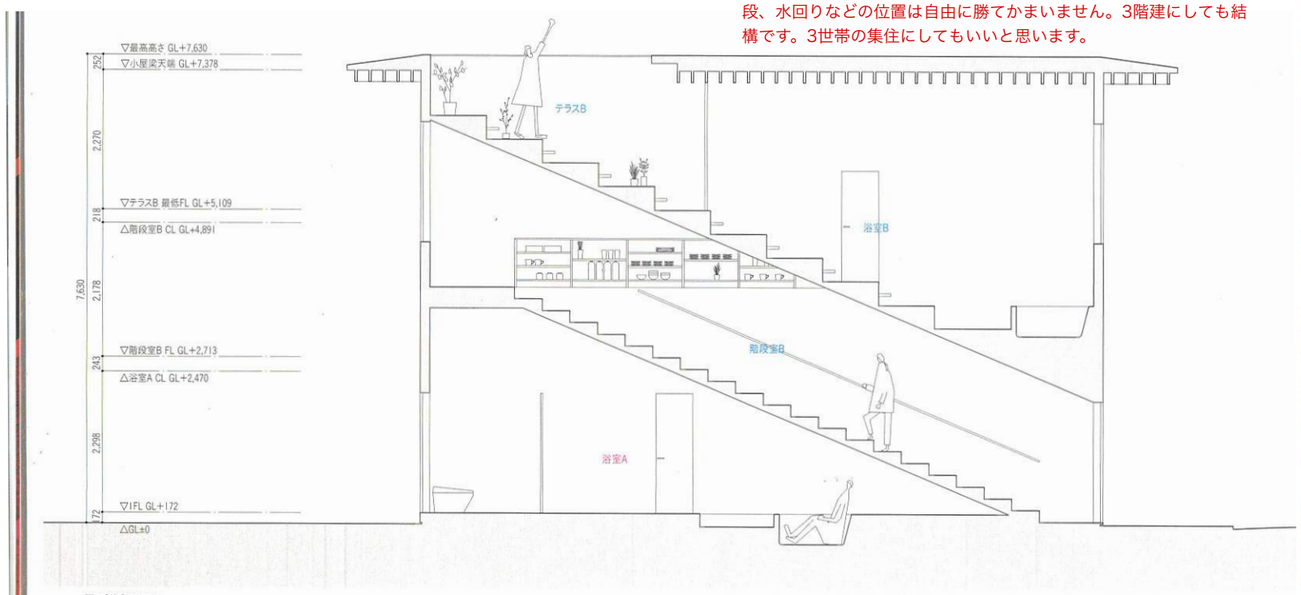
上尾の長屋

設計：長谷川豪

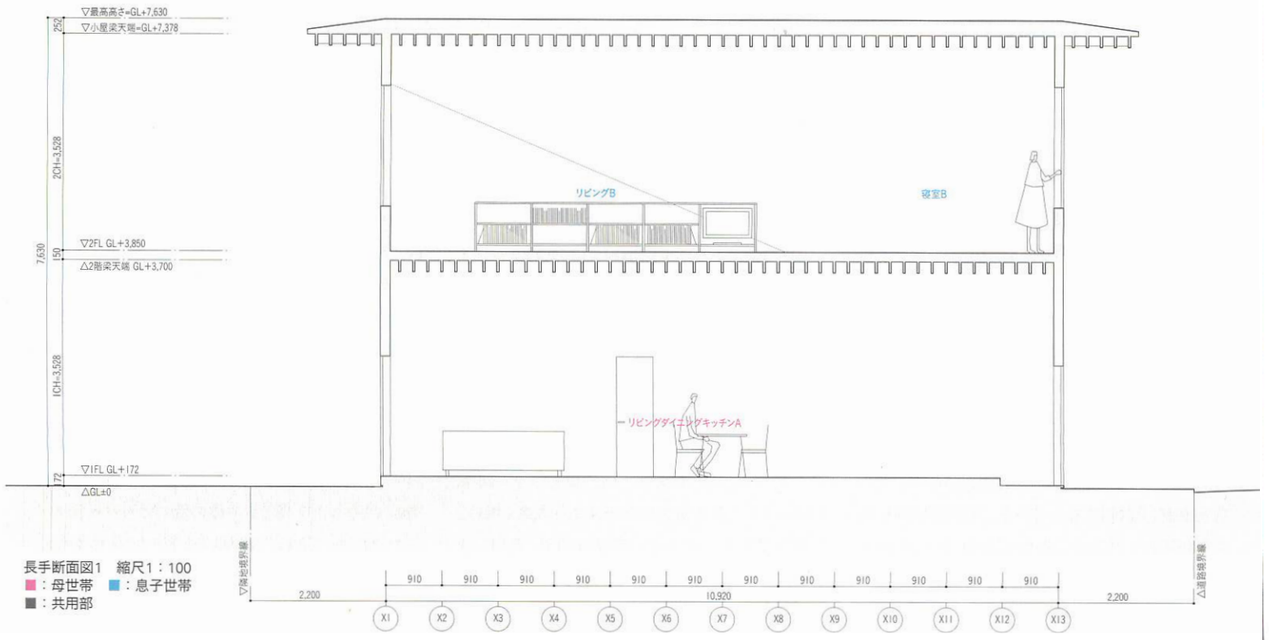
埼玉県の郊外に建つ二世帯住宅。建物を敷地の中央に配し、4つの立面に約2m角の両開きサッシを計12個シンメトリーに配置している。上下階とも同じ高さとし、玄関から長手に伸びる階段室の上下に水回りを配して大きなワンルーム空間を立体的に仕切っている。



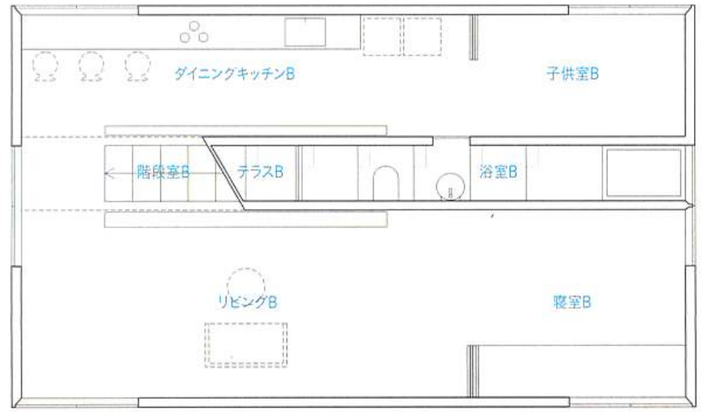
長谷川が初めてファサードにこだわった建築です。そのファサードへのこだわりは一つの両開き扉を開けると二つの別世界が現れるところです。そこで課題は三つの扉を中央に開けて三つの異なる世界をつくってください。質問は受け付けません。自由に解釈して意外な世界を作ってください。建物平面形は変えてはいけませんが、その他の階段、水回りなどの位置は自由に勝てかまいません。3階建にしても結構です。3世帯の集住にしてもいいと思います。



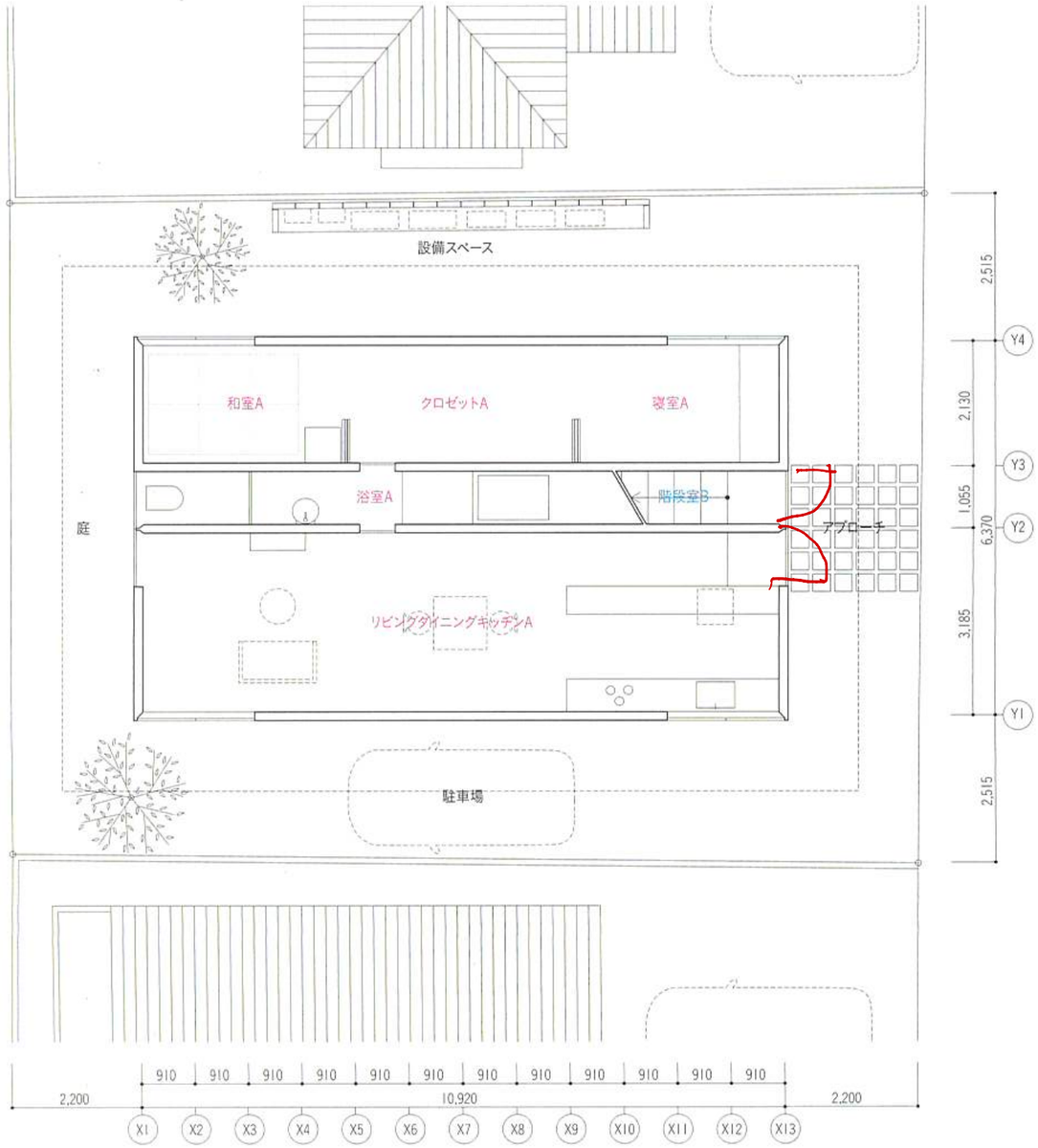
長手断面図2



長手断面図1　縮尺1：100
■：母世帯　■：息子世帯
■：共用部



2階平面図



配置平面図　縮尺1：100
■：母世帯　■：息子世帯　■：共用部